

杉浦定期能

平成30年3月3日(土) 午後1時開演 12時30分開場

於 京都観世会館

左京区岡崎円勝寺町44

*入場料 前売券 4,000円 / 当日券 4,500円 / 学生券 2,000円

*お申込み・お問い合わせ

杉浦定期能楽会事務局

Tel/Fax

075-462-2665

E-mail

toyo@noh-sugiura.com

URL

<http://www.noh-sugiura.com>

京都観世会館

Tel

075-771-6114

杉浦同門宅

出本勝範 (082-221-0095) / 岡田すみ子 (079-222-5362)

金子 昭 (06-6841-2769・akaneko217@tect.zaq.ne.jp) / 塚本和雄 (0748-48-2629)

戸川瑞穂 (072-433-3825) / 松井美樹 (miki.20030517@gmail.com)

松上公英 (06-6928-5021) / 山田修司 (075-861-3811)

番組 (六十八ノ一)

能のお話

二時五〇分

(能)

出本勝範

東北

村山 弘
石井保彦
林 大和
杉 市和

間 茂山童司

休憩十五分

(仕舞)

老 松 片山伸吾
俊成忠度キリ 杉浦豊彦
笹之段 井上裕久
春日龍神 大江信行

(狂言)

口真似

茂山あきら
網谷正美
松本 薫

(仕舞)

小鍛 治クセ 戸川瑞穂
蟬 丸 岡田すみ子
善知鳥 金子 昭

休憩十五分

(能)

松井美樹

安達原

岡 充 河村 大
有松遼一 吉阪一郎
前川光長
間 茂山千三郎 杉 市和

後見・地割

鷺尾世志子 樹下千慧
橋本擴三郎 金子 昭
大江広祐 大江泰正
大 江 泰 正
山田修司 橋本擴三郎
浅井通昭 山田修司

増田浩紀

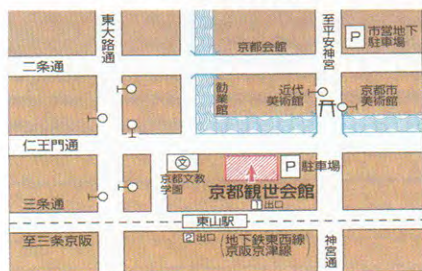
大江泰正
河村晴道
塚本和雄
浅井通昭

大江広祐 樹下千慧
井上裕久 金子 昭
出本勝範 鷺尾世志子
大江泰正
河村晴道
杉浦豊彦
片山伸吾

◆お客様へお願い

- * 事務局で許可した以外の方の写真撮影、ビデオ撮影、録音はお断りいたします。
- * 場内では携帯電話等の電源はお切りください。
- * 都合により出演者に変更がある場合がございます。予めご了承ください。

京都観世会館案内図



- ◆JR 京都駅より
市バス5・100で「京都会館美術館前」下車
地下鉄「烏丸御池」にて地下鉄東西線乗換「東山駅」下車
- ◆阪急河原町駅より
市バス31・46・201・203で「東山仁王門」下車
- ◆京阪三条駅より
市バス5で「京都会館美術館前」下車、地下鉄東西線で「東山駅」下車
- ◆JR 二条・山科・醍醐方面より
地下鉄東西線で「東山駅」下車
- ◆東隣に有料駐車場がございます

東北

東国からの旅僧が東北院（和泉式部の住居跡）を訪れる。花ざかりの梅の木を見ていると、美しい一人の里女が現れる。女はこの「軒場の梅」の由緒を語り、方丈は和泉式部の寝所を残したものであると教え、自分は梅の主の和泉式部であると言って花の陰に消え失せる。旅僧が梅の陰で読経していると、式部の霊が在りし日の姿で現れる。御堂関白（道長）の和歌の功德により火宅を逃れ歌舞の菩薩となったと語り舞い、色香に染まる昔を思い出し、方丈に入ったかと思うと僧の夢は覚める。

安達原

熊野の山伏 阿闍梨祐慶の一行は諸国行脚の途中、奥州 安達原で日が暮れたので、野中に一軒の庵を見つけ一夜の宿を乞う。主の女は一度は断るが招き入れ、山伏たちが興味を示した梓かせ輪で糸尽くしの唄を謡いながら糸を繰る様を見せる。やがて夜も更け、女はもてなしの焚火の木を取りに行くので、帰るまで闇の内を見ろと言いついて出かける。山伏の寝入った隙に能力が闇の内を見ると、そこは人の死骸の山。能力は驚き鬼の棲家だと祐慶に告げる。一行が逃げ出すと女は鬼の本性を現し、約束を破ったことを恨み、非難し襲いかかる。山伏たちに祈り伏せられ、夜嵐とともに消え失せる。

★次回予告

平成 30 年 12 月 15 日 (土) 1 時始

能 三 輪 金子 昭
能 錦 木 杉浦豊彦



附祝言
終了予定五時半頃